

# 学力調査における設問の要素（「3つのJ：条件・時間・字数」）を取り入れた授業改善

令和4年度コアティーチャープロジェクト部会中学校外国語部会

本授業は、「学力検査における設問の要素（「3つのJ：条件・時間・字数」）を取り入れた授業改善」をテーマとし、身近な事柄について、事実や情報を基に自分の考えや気持ちなどを含めて表現する力を身に付けさせることを目的とした授業である。

中学校の英語学習の実態や諸検査等の結果から、中学校外国語科の最大の課題として、「与えられたテーマについて、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある英文を書くこと」が挙げられている。

授業改善の目的として、「必然性のある場面を設定し、『3つのJ』の条件を意識させ、既習事項の疑問文や応答文を授業の中で繰り返し使用させることを通じて、表現力を育成する」ということを設定した。また、小学校5年で同様の内容を学んでおり、単語や基本文型等の言語材料に親しんでいることや、生徒の興味・関心が高まりやすいということから、第1学年の「Stage Activity2 My Hero」の授業を構想した。

ここでは、単元のゴールとして、小学校との連携も図り、「小学校の先生方のヒーローを紹介する新聞を作成し、小学校へ送る」という必然性のある場面設定を行った。後輩である小学生に伝える喜びを味わう機会となることや、小学校の先生に対して、英語を用いて自信をもって表現活動を行う成長した姿を見せることで、達成感や自信を醸成したい。また、読み手に配慮しながら、「3つのJ」に基いた文章構成を考え、生き生きと自分の考えや思いを表現できる生徒の育成を目指したい。